



## 平成20年度 キャリア教育講演会

### ◆第1回キャリア教育講演会

全学年・職員・保護者対象

1. 日時 平成20年5月26日(月)
2. 講師 小柴昌俊氏(物理学者 ノーベル物理学賞受賞者)
3. 演題 「やれば、できる」
4. 講師紹介

2002年「天体物理学とくに宇宙ニュートリノの検出に対するパイオニア的貢献」によりノーベル物理学賞を受賞。素粒子物理学・宇宙線物理学の分野で多大な業績を上げた。日本学士院会員。愛知県豊橋市出身。東京大学理学部物理学科卒業。米国ロチェスター大学大学院博士課程修了。ロチェスター大学にて18ヶ月でPh. D. を取得。同大学での最短博士号取得者。この最短記録は現在でも破られていない。東京大学理学博士、東京大学特別栄誉教授・名誉教授、明治大学名誉博士。勲等は勲一等、文化勲章受章、東京都名誉都民。杉並区名誉区民。現在は、平成基礎科学財団理事長、21世紀臨調特別顧問、崇城大学客員教授。



生徒の拍手に迎えられる小柴先生



講演中の小柴先生

### 5. 講演要旨

「天体物理学とくに宇宙ニュートリノの検出に対するパイオニア的貢献」により2002年にノーベル物理学賞を受賞された小柴昌俊先生の講演が行われました。

演題である「やればできる」という言葉は、「本気になってやればできる」ということであることを強調されました。人間はなかなか本気になれない、ではどうすれば本気になれるのか、ということを生先生自身がこれまでの人生の中で経験されたことから大きく二つの事柄について話をされました。

一つには先生が2003年に「平成基礎科学財団」を設立されたことから、一人では財団を作ることは出来ず何千何万という人々の応援を得ることが必要であったこと、努力を形にあらわさないと周りの人々は応援しようとしてくれないこと等を訴えられました。財団を設立することができたのは先生自身の信条である「やりたいと思ったことは何とかして乗り越えよう」とする意志の強さがあったからでした。財団の活動として具体的には高校生に「楽しむ科学教育」(「楽しい」ではなく「楽しむ」)を行い、能動的に科学を楽しむ学習を行ったりしているそうです。

二つには岐阜県神岡鉱山における地下実験でニュートリノの観測を成功されるまでの道のりについて話をされました。人から「これをやったらいいよ」というものでは自分の本当にやりたいことにめぐりあえないものである。自分で本当にやりたいことは自分で手探りをして見つけて欲しい。先生は日本の基礎科学に触れたいと感じる機会を作らないといけないと思いニュートリノ観測装置「カミオカンデ」を作られました。その作成においては、より大規模なアメリカの観測装置を上回るため、浜松ホトニクスに精度の高いセンサーを作るように説得したりと大変な努力で装置の完成度を高め、1987年ついに人類最初の超新星ニュートリノの観測をすることができました。

小柴先生は話の中にユーモアを散りばめながら、グラフや表・写真も使いながらわかりやすく話をしていた  
だき、生徒や保護者も集中して話を聞いていました。

6. 県教育委員会のHPでも紹介されました。(6/9) [こちらへ。](#)

7. [平成基礎科学財団ホームページ](#)

### ◆第2回キャリア教育講演会

1・2年・職員・保護者対象

1. 日時 平成21年3月23日(月)
2. 講師 黒川伊保子氏(感性アナリスト、随筆家)
3. 演題 「脳と心のヒミツ 「感性」とは何か 」
4. 講師紹介

奈良女子大学理学部物理学卒。(株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリーにて、14年にわたり人工知能(AI)の研究開発に従事した後、コンサルタント会社勤務。民間の研究所を経て、2003年(株)感性リサーチを設立、代表取締役役に就任。2004年 脳機能論とAIの集大成による語感分析法『サブリミナル・インプレッション導入法』を発表。サービス開始と同時に化粧品、自動車、食品業界などの新商品名分析を相次いで受注し、感性分析の第一人者となる。2005年 倉敷芸術科学大学非常勤講師就任。2006年 大前研一アタッカーズビジネススクールで、感性マーケティング講座を開講。

#### 5. 著書

近著に「怪獣の名はなぜガグゲゴなのか」(新潮新書)、「恋愛脳」(新潮文庫)、「しあわせ脳に育てよう」(講談社)、「恋するコンピュータ」(筑摩書房)、「女たちはなぜロコミの魔力にはまるのか」(KKベストセラーズ)、「日本語はなぜ美しいのか」(集英社新書)など多数。

#### 6. 講演要旨

物理を専門とされる黒川先生は、ロボットの知能を開発する現場に15年ほど在籍され、その開発を通じて「人間の脳と感性」について深く研究されてきました。ロボットと人間が円滑にコミュニケーションをとらなければならない時代からこそ、生身の人間同士のコミュニケーションが大切だとおっしゃいました。

##### ○脳の気分は2種類

・アナログ脳・・・複雑なものを認識し、きれいなものやドラマティックなことを好む

・デジタル脳・・・簡潔なものを認識し、図形や数値計算、理路整然としたことを好む

女性と男性を比べると、女性の方がアナログ脳が優位に働く。女性と男性の間で、会話がかみ合わないことがあるのは、この脳の気分が違うとき。

・ダメダメアナログ脳・・・「だって」「どうせできない」など、D音の言葉を発する

・ダメダメデジタル脳・・・人の気持ちがわからない、人の悪口を言う



##### ○脳を活性化させる生活習慣

・早寝早起き朝ごはん

・体を動かすことを楽しむ

・夜にお風呂に入る

・質の高い睡眠を心がける

これを実践することで、学力だけでなく、生きる力(想像力や夢を見る力)が発達する。

##### ○人生の旅も2種類

・好奇心の旅

・野心の旅



脳と感性という一見難しそうなタイトルの講演でしたが、ご自分の息子さんの話を交えるなど、わかりやすく、楽しく話をしてくださいました。生徒の感想には、「自分の日常生活を見直した」「お父さんとお母さんの口論の構造がわかった」「他の人を思いやる人になりたい」などがありました。

#### 7. 関連HP

[黒川伊保子オフィシャルサイト](#)

[\(株\)感性リサーチ](#)